

令和7年3月28日

秋田県教育委員会  
校務DX計画

本県では、校務のデジタル化により教職員の働き方改革を進めることで、ひとりひとりの児童生徒に向き合う時間を確保するとともに、介護や子育て中の教職員の働き方を柔軟化し、負担を軽減することを目指し、令和5年度に県立学校において統合型校務支援システムを構築しました。

「GIGA スクール構想の下での校務の情報化に関する専門家会議」の提言や、「GIGA スクール構想の下での校務DXチェックリスト」による自己点検の結果を踏まえつつ、教育委員会及び学校においてDXを推進します。

教育委員会においては、学校に対して押印を求める書類を廃止しているほか、FAXによる学校とのやりとりを削減しているところではありますが、教育委員会から各学校に対して送付する文書の基本的ルールを定めるため、働き方改革や学校における事務負担軽減を図るため、教育委員会における発出文書の調査により検証を行うほか、各種事務手続きのペーパーレス化を推進してまいります。

学校においては、児童生徒による1人1台端末の持ち帰り利用が広く行われるようになり、ICTを活用した教育環境が整いつつある一方、業務時間外における保護者からの問い合わせ対応や保護者との日程調整などデジタル化が遅れていることから、保護者向けの連絡システムの導入及び校務支援システムとの連携により、業務時間外における保護者対応を縮減するなど、教員の働き方改革を推進します。また、業務で押印を求める書類が存在することから、たとえば勤怠管理についてはペーパーレス化により校務支援システム上で記録を行うことやFAXによる業務の削減など、DXを推進するにあたり望ましい校務の在り方について検討を進めてまいります。